

海藻の生育地図化成功

下田の企業、東大研、県水技研 連携

下田市のウインディーネットワーク(杉本憲一社長)と、東京大生産技術研究所、県水産技術研究所伊豆分場はこのほど、同市南部の外浦湾で、海底でカジメなどの海藻が繁殖している様子を地図化する取り組みに成功した、と発表した。

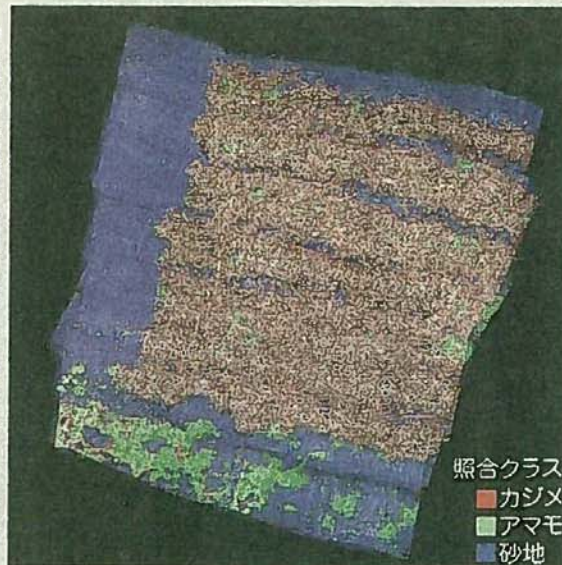
同社は昨夏、水深2〜8メートルの同湾で同研究所の餌のカジメや、とこの有の英国製の「ジオスワスプラス」コンパクトという機材で、超音波による測量を実施。東大が海藻の種類や量などを解析して地図化、県は実際の潜水調査を通じて地図の精度などを確認したという。県は今回の手法を、港湾整備などの環境変化で海藻が減るいわゆる「磯焼け」の状態と

「磯焼け」調査活用も 超音波量

なっている牧之原市沖の海底調査などに利用することを検討中。伊豆周辺の海でも磯焼けを調査することで、ア

ワビの稚貝の放流場所の参考などにする。同社はこれまでも産学官連携による事業を多く手掛けてきた。杉本社長は「超音波による海底調査の手法を今後は全国の漁場にも広げていきたい」と抱負を語った。

下田市の外浦湾の海底でカジメとアマモの2種類の海藻が繁殖している様子を示した地図



クラスカジメアマモ砂地

「意外と熱海」テーマに発信

観光6社がタッグ

熱海

熱海市の2013(15年度)の観光ブランド

天トラベル、リクルーの受託でなく、地域でる。トライフスタイルを加行う観光活性化の流れをつくりたい」とす

外と熱海」をテーマに四季ごとのプロモーション

JTBは春々夏のブランドブックも約4万ページが開設された。

掲載



豆の国市

安協三島支部など 新入学児童に 交安グッズを

交通安全協会三島地区支部や三島署などは4日、春の交通安全運動を前に、「入学おめでとうキャンペーン」の一環で三島市立北小の新入学児童122人に交通安全グッズを贈呈した。



寺崎支部長から交通安全グッズを受け取る新入学児童(三島市の市立北小)

反射材は同署管内(同市と函南町)の全新入学児童1292人に配られた。同署によると、今年に入って管内では歩行中の小学生が巻き込まれる事故が5件発生している、全て児童が道路を横断中に発生しているという。

部長が入学式で、「交通安全に気を付けてください」と代表児童に反射材のキーホルダーなどを手渡した。市からは防犯ブザーと交通安全のヘルメットが贈呈された。

三島市ア団体「博美代表作りの女の子の交通」200

交通マ三島市ボラ、ア団体「博美代表作りの女の子の交通」200動で市民る予定。会員5コトにの書き

チャイ、着用、伊春の全